



ひらほく新聞

発行所 読売センター平塚北部 (ひらほく) 山本 直 〒254-0013 神奈川県平塚市田村 9-4-32 電話 0463-54-2807

「ひらほく新聞」で検索!
★感謝で継続12年目に突入★
<http://www.hirahoku.com/>
☆ぜひ、バックナンバーをどうぞ!



一日置かれる人が使っている

背筋が伸びる日本語

「そのまま言う」だけで
印象は180度
変えられる

西村 貴好
15万人の
心火をつけた
感動の達人が贈る

あなたはいくつ使いこなせる?

「その言葉が、あなたの人生を変える。」「その言葉が、あなたの未来を変える。」「その言葉が、あなたの運命を変える。」

西村 貴好 著
感動の達人が贈る

2010年「泣く子もほめる!」ほめる達人(ほめ達)として、「ほめ達検定」をスタート、3級受講者は年々増加6万人超。その発案者の西村貴好さんが昨年末に、「使つと背筋がスツと伸びる日本語」の本を上梓。正しい日本語の使い方、本でもなく、故事成語の解説本でもない。丁寧に表現すると、背筋がスツと伸びて、心が整い、人間関係が好転していく言葉の本。言葉は心を支え、人との縁を繋ぐ。時代の評価を経て生き残ったワンランク上の珠玉の言葉たちから抜萃、謹んでご紹介します。

言葉の機能

言葉には、自分の意思を相手に伝えるという機能だけではなく、「その言葉を使う人がどのような人物であるかを相手に伝える」機能がある。

使っている言葉によって、その人物像が相手に筒抜けに伝わっているという恐ろしさを感じている人はほんの握り。なぜならば、同じような感覚で言葉を使っている人とはかなり普段は一緒にいて、自分の言葉に対する感覚が麻痺してしまっているからだ。このような環境では、自分の成長が止まっていることに気づかない。一番の問題だ。ただ、もし「今の自分よりほんの少しでも成長したい」「素敵な出会い、人間関係で後悔のない人生を生きたい」と思うならば、どうするか。

言葉を変えるだけ

やることはすくなくシンプル。言葉を変えていくだけでいい。ポイントは「言葉のクラス感(等級)」を上げること。

普段、自分が使っている言葉より、ワンランク上の表現に挑戦してみよう。すぐに使いたくなる言葉もあれば、今のあなたからすると少し違和感を覚える言葉もあるかもしれない。だが、その違和感こそが、ワンランク上の表現に挑戦していることの証明。言葉を変えることで思考も変わる。今回ご紹介の言葉たちは、いずれも「時代のフィリター」という厳しい評価を経て現代に残っている、クラス感の高い珠玉の表現。数多ある素敵な言葉の中から、53個を厳選、使い方や注意点を添えて紹介していく。

ほめる言葉 後生畏るべし

自分より年下の者には、どれだけ成長するかからないほどの可能性がある。年少者を軽く見ずに、彼らから刺激を受け、学んでいくことが大切であるという言葉。「後生」とは、自分より後から生まれた者の意。「論語」より、孔子の言葉。

《例文》
もはや、パソコンさえ必要としない。スマホだけで、これだけの仕事をやってのけるとは、後生畏るべしだ。

常に成長し続ける人の共通点の一つは、自分より年少の者からも学ぶこと。むしろ年下の人からこそ、積極的に学んでいること。違和感さえ覚える世代の違いの中に価値を見出し、活用し、自分自身の力にしていく。これがいくつになっても成長を止めない生き方ではないか。ほめるだけでなく、自らの生き方をも見直せる言葉だ。

鶏群の一鶴

多数の平凡な人の中にあつて、一人だけ傑出した人物がいること。多くの鶏の中に混ざつて、一羽だけ鶴がいる様子から。『中国、晋の歴史書』晋書 嵇紹伝

《例文》
徹底度がすごい!業界における鶏群の一鶴、圧倒的な存在感ですね。

人並みをはるかに超えて結果を出している人や組織に対して、深い称賛を伝える言葉。似た意味の「卓越した存在」よりも「鶏の群れの中に一羽の鶴がいる」というビジュアルが頭に浮かび、非常に分かりやすい表現。「世間並み」をはるかに超える圧倒的な努力の結果としての「一鶴」の存在感。その努力に対する敬意を込めて使いたい言葉。

心を伝える言葉 盲亀の浮木

出会うことが甚だ困難であることのとえ。また、めつたにない幸運に巡り合うことのとえ。深海に棲む目の見えない亀が、百年に一度、海面に上がってくる。その亀の首が水面に漂う浮木の穴にたまたま入つてしまつたという寓話から。

《例文》
盲亀の浮木、優曇華の花、ご縁を感じます!
思いがけないところで、思いがけない人に会った時、「奇遇ですね」という言葉が、スツと出てくるようなら、かなりの上級者。

その上の表現を目指すならば、この「盲亀の浮木」を使おう。さらに例文にある「優曇華の花」とは、三千年に一度だけ咲くという伝説の花。奇跡のような開花の瞬間を見ることができると幸運を意味する。

思いがけない出会いを「奇遇」「偶然のもの」として片付けてしまふのか、「盲亀の浮木、優曇華の花」と縁を感じて、必然のものと相手に伝えるのでは、出会いの意味が大きく変わっていく。

魂を奮い立たせる言葉 腕を撫す

十分に腕前を発揮できる機会を待ち望む。準備ができている、心が奮い立ち、やつてやろうという状態のこと。日本の慣用句。

《例文》
この分野はお任せ下さい。腕を撫して、この機会を待っていました。
自分の専門分野について依頼を受けた時などに使いたい言葉。①準備は万端整えてある、②気合いが入つて、武者震いしそうだと二つのニュアンスが含まれる。「この機会をずっと待っていました」という気持を一語で相手に伝えられる言葉。

準備をすることに関して、私の頭の中でいつもこだましている言葉がある。それは、「これでいいのか、油断はないか、まだまだ打つ手は残っているぞ」。

この言葉を頭の中で3回ほど繰り返すと、不思議なことになり、準備できることが、さらに見つかったりする。この繰り返しの先に「腕を撫す」が由来がっていくのだ。

言行一致

日本の四字熟語。「言行」とは文字通り、言葉と行動のこと。その二つが矛盾することなく一致することが重要という意味。違う場合は言行不一致。

《例文》
言行一致ほど難しいものはないという自覚こそが、人格形成の第一歩ですね。
この言葉を知識として知っている人は、かなり多いと思うが、実践できているかというところだろうか。どうしても難しい時、できていないと自覚できた瞬間、そこに成長がある。言行一致の確認を習慣化していくと、言葉に重みが出てくる。そして一致した行動は、その人の魅力として評価されていく。

障がい者の男の子の胎内記憶がアンビリバーボー!

誕生の滑り台に乗る前の神様とのやり取りが兄弟愛にあふれてて両親が号泣した話

■2011年7月、東日本大震災復興支援チャリティイベントで、会場の茨城へ向かう列車内での引き寄せの縁のデイズニー講師・香取貴信さん。以下、鹿取さんのYouTubeチャンネルより、同志の古い開運アドバイザー・崔燎平さんから聞いたという胎内記憶に関する驚愕のお話です。

ストレッチャーに乗った高校一年生くらいの障がい者の息子さんを連れて、ご両親が占いに来た。障がいを持って生まれてきた息子さんは、目が見えず、身体も動かさない、そのうえ成長も遅い。下に妹さんが二人いる。年頃になって、友達も家に連れてこれられない、そしてお嫁に行く時には・・・、と悩み息子さんを施設に入れたほうがよいのではと思いい、その日を占ってほしいとのことだった。

「君はさあ、何のために生まれてきたの？」すると、その子が話し出した。

「ボクねえ、お空で見てたんだ。そして、この人たちのところに生まれようと思ったんだ。お空にはね、大きな滑り台があつて、そこからポーンって滑って、お母さんのところに行くんだけど、滑り台に昇った時に、神様に呼び止められて、3つものを持って生まれてくれないかって頼まれたんだ。それは、何かって聞いたら、一つは『目が見えない』、二つめは『重い病気があつて、三つめは『なかなか成長できない』だつていうんだ。ボク考えて、お母さんの顔が見たいから、目が見えないのはイヤだなんて思つたんだ。そしたら神様は、1つなら置いていっていいよって言うから、ボク、『目が見えない』って言うのを置いていくねって言うって、2つを持って滑り台に戻つたんだ。でもそのとき、残つた1つはどつちなるんだろ?って考えたんだよ。

催先生は、ふっと胎内記憶のことが甦り、占う前に知能は4、5歳くらいだという息子さんに次の質問を試みた。

妹たちに持たせるのはイヤだな・・・って。お母さんのお顔が見えないのは残念だけど、いままでお空で見てたからいつか!って思つてボク、全部持つてく!って言うって降りてきたんだよ。」

これを聞いたご両親は、いままでもこんなこと一度も聞いたことがなかったのでも、とにかく驚いて二人で号泣・・・。「もう占いは結構です、この子は施設には預けません。私たち二人がきちんと最後まで育てます。お手間をお掛けして申し訳ありませんでした」と言つて、その子を抱きかかえて帰っていかれたという。

胎内記憶研究の第一人者、横浜の産婦人科、池川クリニック・池川明先生とは、本厚木の講演会他で何度もお目にかかり、当ミニコミでもその大切な思いを紹介してきた。



記憶」と呼んでいる。調査によると、3人に1人の割合で、胎内記憶を持つていることが分かっている。

胎内記憶を話す子どもたちにはみな、同じような内容を語るという。それは、「人の役に立つために生まれてくる」ということ。お父さん、お母さんの役に立ちたい。一番最初にできることはい。「お母さんを助けたい、お母さんの役に立ちたい」ということ。自分が生まれてお母さんが幸せ、それが子どもたちにとって一番の幸せ。

一般的には「産まれる前の記憶」を総括して「胎内

強運者の共通点

上記実話の崔燎平さんは、占い業他にカラオケ施設等大きく展開。この3年程で物凄く変わったという人生について、表面書籍の西村さんの珠玉の言葉たちを織り交せてご紹介する。

崔さんが2018年、初書籍出版の記念講演会の際、異質なオーラの方が一番後ろにいた。終演後の挨拶で職業を尋ねると、「ボクは、人を笑顔にすることが仕事です!」との笑顔の返答。香取貴信さんとの初対面、この人は芸人さんなんだ(笑)と思つたという。

胎内記憶を取材した、ドキュメンタリー映画、かみさまとのやくそくの予告編↓



素晴らしい『同志』との出会いがなかった。その中には、以前から『私淑』してきた、ベストセラー作家、ひすいこたろうさんと

「祈るは感謝」。多くの方たちの祈りも有難くいただき、自らも気づかせてもらった感謝の祈り。大手術を無事乗り越え、息子さんは元気に育っている。今も毎日「祈り」を続けている。

★人間力大学はこちら↓人生を変える最幸の衝撃的出会いの場



出愛つてくれた人から何を学ぶか

静岡で人材育成を目的とする居酒屋づくりを展開するグループ、岡村浪漫を経営する岡村さん。今回も珠玉のメッセージをご紹介。

出会う人は... みんな運命の人 支えてくれた人 仲良くしてくれた人 協力してくれた人 悩ませてくれた人 騙してくれた人 裏切ってくれた人 みんな 何かを学ぶために 何かを『くれた人』 大切なのは その運命の人から 何を学ぶかだよ